



観音寺小だより

はまごう かおり  
「浜栲の香」

HP: <http://kanonji-es.city-kanonji.ed.jp>

第 5 号  
観音寺市立  
観音寺小学校

五月の校長講話(要約) ※今回から集会にもタブレットを活用しました。

# 「心のコップ」

(ちくちくことば)  
↓ふわふわことば○

〔前略〕今日は、「ことば」について考えたいと思います。最初に、みんなに使ってほしくないことばです。それは、「ちくちくことば」です。ちくちくことばとは、言われて嫌な気持ちになることばです。なぜ使ってはいけないのか、そのわけを「心のコップ」の話でしたいと思います。



このコップには、水が入っています。どれだけ、入っているかわかりますか？見えないから分かりませぬ。この見えないコップが、みなさんの「心のコップ」です。心のコップは、一人ひとり、その大きさや感じ方が違います。ちくちくことばを言われると、心のコップの中に、つらい気持ちや苦しい思いが溜まっていきます。最初は、我慢できても、言われる度に、溜まっていきます。最後には、いっぱいになります。それでも言われ続けると、とうとう溢れてしまいます。心が壊れてしまうのです。だから、ちくちくことばは、絶対に言ってはいけないのです。では、どんなことばを使うようにしたらいいのでしょうか。それは、ちくちくの反対で、「ふわふわことば」です。ふわふわことばには、どんなことばがあるでしょう。みんながあいさつの時に使っている「ありがとう。」「もその一つです、あと、」「すごい。」「とか、「ごんまい。」などもそうです。是非、クラスで、たくさんの方々のふわふわことばを見つけてください。みんなが元気で、笑顔になれるように、今日から「ストップ！ちくちくことば、チャレンジ！ふわふわことば」を合言葉にしていきましょう。



## 県の予防対策レベル ⇨ 油断することなく感染症予防の徹底

県内の新規感染者数が6日連続一桁になり、本日6月1日より感染症予防対策レベルが1段階下がりました。この状態を受けて、現段階では「授業参観」ならびに「水泳学習」は、予防対策を講じた上で実施してまいります (状況で変更有)。授業参観については、先日配布した「分散授業参観の開催について」を参考に、本日配布の資料で参加者の報告をお願いします。また、安全・安心・安定した水泳学習のために、以下の内容を参考に、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



### 文部科学省より 「学校の水泳授業における感染症対策」

- ① プール水の残留塩素濃度が適切に管理されていれば、水中感染のリスクは低い。
- ② 朝の検温や学習前の健康状態を把握し、体調が優れない場合は参加を見合わせる。
- ③ プール内に一斉に大人数の児童が入らないようにし、間隔を2m以上に保つ。
- ④ 手をつないだり、体を支えたりするなど、児童が密接する活動は避ける。
- ⑤ 更衣室は少人数で利用し、不必要な会話をしないように指導する。
- ⑥ 水泳帽子やゴーグルなどの貸し借りをしない。



### 本校の水泳学習における予防対策

- ☆ 学校環境衛生基準に従って、各授業前に塩素濃度を確認し、十分でない場合は中止とする。
- ☆ 保護者から提出される水泳カードを確認し、様子を見て心配な場合は直前に検温を行う。
- ☆ 学年体育は実施せず、一度にプールを利用するのは原則2クラスまでとし、密を避ける。
- ☆ 泳ぐ方向は一方通行として、プール内で対面することが無い活動をする。
- ☆ 授業前は特別教室等で更衣、授業後は数グループに分かれ、順次更衣室を利用する。更衣は私語をせず行い、利用する棚も時間毎に分ける。
- ☆ ビート板などの学習用具も、貸し借りをしない。